

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校4年 教科 算数 など

準備も交流も支援もらくらく!

使用するアプリケーション等
スクールタクト

単元・題材 計算のきまり・計算のやくをくを調べよう

本時の目標 ドットの数の求め方を図や式に表したり、図や式から考え方を読み取り説明したりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・Dコンテンツを使うことで、図形の準備や移動が手軽に出来るようになる。
- ・スクールタクトを使うことで、色々な「思考の過程」を、好きなタイミングで得ることができる。どう考えたらよいかヒントを知りたい、自分の考えに不安がある、異なる考えを知りたい、など思考に活用する情報を増やすことができる。また、発表の際に電子黒板に子供の考えをそのまま表示できたり、異なる子供の考えを簡単に比較したりすることができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①前時までのノートを見て、計算の工夫の仕方を思い出す。

2 展開

めあて 求め方を、1つの式に表せるか考えよう。

課題 ○は何個ありますか。いろいろな求め方を考えましょう。

- ①自分の考えを、図と式を使って表す。
 - ドットの図形を配り、動かしながら自分の考えをノートに書く。
 - 数人の児童にA3の用紙を配り、求め方を書いてもらう。
- ②全体で考えを共有する。
 - A3用紙を黒板に貼り、発表する。
- ③ドットのまとめ方や、計算の仕方を比べて話し合う。
 - 気を付けていることと、似ているところを出し合う。

3 まとめ

計算のやくそくに注目すると、

- ・求め方を1つの式に表すことができる。
- ・1つの式から、どのように考えたのかを読み取ることができる。

- ①本時の習得内容を応用転移する課題に取り組む。
 - 教科書の問題に取り組む。
- ②振り返りを行う。
 - ノートに書く。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①前時までの端末上で入力した振り返りを見て、計算の工夫の仕方を思い出す。
 - 前時に使用したスクールタクトの画像を見せ、計算の工夫の仕方について考えたことを思い出す。

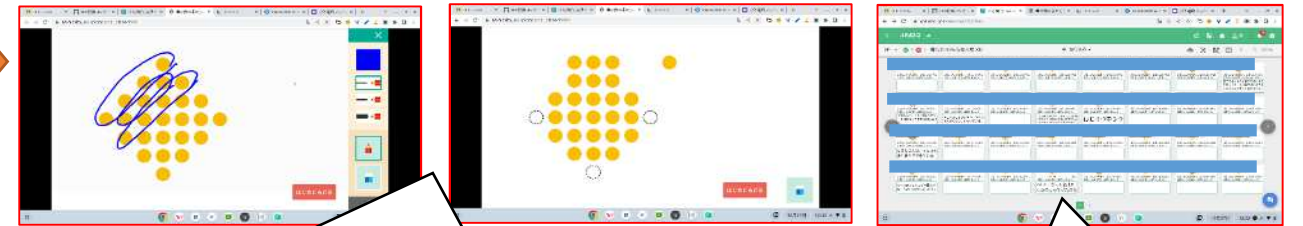
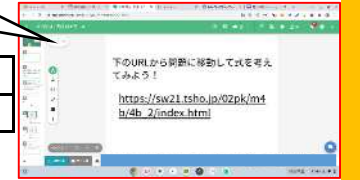
スクールタクトにDコンテンツのURLを貼り付けておくことで、子供たちが毎回QRコードを読み込まなくてもすむようになる。

2 展開

めあて 求め方を、1つの式に表せるか考えよう。

課題 ○は何個ありますか。いろいろな求め方を考えましょう。

- 学びポケットでスクールタクトを配布する。
- ①自分の考えを、図と式を使って表す。
 - スクールタクトからDコンテンツに移動し、動かしながら自分の考えをスクールタクトに書く。
 - 考えている途中に、スクールタクトの他の子の考えを見てもよいことを伝える。
- ②全体で考えを共有する。
 - 発表は電子黒板とスクールタクト、Dコンテンツを使って行う。
- ③ドットのまとめ方や、計算の仕方を比べて話し合う。
 - 気を付けていることと、似ているところを出し合う。
 - 考えている途中に、スクールタクトの他の子の考えを見てもよいことを伝える。



Dコンテンツで、準備が楽になり、子供の考える時間の確保にもなる。

子供たちの考えを一覧で見たり、比較したりすることが簡単にできる。

3 まとめ

計算のやくそくに注目すると、

- ・求め方を1つの式に表すことができる。
- ・1つの式から、どのように考えたのかを読み取ることができる。

- ①本時の習得内容を応用転移する課題に取り組む。
 - 教科書の問題に取り組む。
- ②振り返りを行う。
 - ワークシート、タブレットPCいずれか自分で選んだもので振り返りを書く。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・図形の準備や配布にかかる時間が短縮され、児童の「考える時間」が増えた。
- ・一つ考えが見つかった児童にとっては新たな考え方の獲得、未だ考え方が思いついていない児童にとっては考えるヒントを獲得することが、とても効率的だった。
- ・友達の考えに簡単に触れることができることから、自分で考えることを放棄してしまう児童がいる場合もあるものと思われる。指導者用端末から一人一人の学習状況を確認しながら、個別の声かけや支援を行うと良い。